

2022年4月2日

ウクライナ・ロシア情勢をめぐる緊急声明

日本文化政策学会  
第5期会長 熊倉純子  
第6期会長 藤野一夫  
第5期・第6期 理事会一同

日本文化政策学会は、ロシア軍によるウクライナ侵攻の犠牲者、被害者となられたすべての人々に哀悼と連帯の意を表します。

芸術・文化の自由な創造・享受・参加を可能にする政策を研究する私たちは、憎悪と暴力に反対し、平和をかたく支持します。ユネスコ憲章を引くまでもなく、芸術・文化は偏見をとりのぞき、平和の礎となるべきものだと強く信じているからです。

私たちは分断ではなく連帯を支持します。ウクライナの人々はもちろんのこと、ロシアやそれ以外の地域において、戦争に反対し、平和を求める人々、とりわけ多様な文化を尊重し、平和を希求する芸術家や文化関係者、文化機関と私たちは連帯します。また、ロシア人に対するいわれなき中傷や差別、ロシア文化の一律のボイコットにはくみしません。

ウクライナ国内の文化施設や文化財に対する攻撃も、ロシア国内の文化機関や関係者に対する言論統制の圧力も、私たちは断じて容認することができません。ロシアにおける言論と表現の自由、文化関係者の安全の確保を強く求めます。

私たちは芸術・文化を通じた相互理解の促進、平和の構築を支持します。多様な人々がつながり、ゆたかな人間生活を送るための文化的実践を擁護します。そうした実践を支える政策を実現するため、研究や活動を通して、世界の永遠平和に貢献してまいります。